

令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士前期課程 (英語英米文学専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単位 | 曜日 | 時限 | 教室 | 受入可能学生数 |
|-------------------|--|-------|----|-----|----|-----|---------|
| 英文学研究Ⅰ-1(英国小説) | イギリスの文学作品を歴史や文化、思想などの幅広い背景を踏まえたうえで考察していく。テキスト理解に取り組むことで、英文表現の幅広さに対する認識を高め、各学生の研究にも活用できるようにしたい。今年度はシャーロット・ブロンテの『ヴィレット』を読む。授業は輪読形式で行う。 | 松村 聡子 | 2 | 春・火 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 英文学研究Ⅰ-2(英国小説) | シャーロット・ブロンテの『ヴィレット』を読む。授業は輪読形式で行う。 | | 2 | 秋・火 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 米文学研究Ⅱ-1(アメリカ小説) | 【テーマ】 Henry Jamesの短編研究 【概要】 Henry Jamesの初期の国際エピソードが色濃く出た短編“A Passionate Pilgrim”(1871)を精読します。英語で書かれた難解な作品として知られるJamesの短編を一語一句正確に読み解きながら、作品の成立の過程や構成を同時に探究し、作中に登場する様々なモチーフについても細かく見てゆきます。短編を分析するなかで、文芸批評の基礎となるものや、種々の批評理論や哲学思想の作品への応用方法についても身につけてゆきます。授業では、メンバーが分担して該当箇所の精読と自分なりの分析を発表してもらいます。 | 入江 識元 | 2 | 春・木 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 米文学研究Ⅱ-2(アメリカ小説) | 【テーマ】 Henry Jamesの短編研究 【概要】 Henry Jamesの芸術をテーマとした短編“The Author of Beltraffio”(1884)を精読します。英語で書かれた難解な作品として知られるJamesの短編を一語一句正確に読み解きながら、作品の成立の過程や構成を同時に探究し、作中に登場する様々なモチーフについても細かく見てゆきます。短編を分析するなかで、文芸批評の基礎となるものや、種々の批評理論や哲学思想の作品への応用方法についても身につけてゆきます。授業では、メンバーが分担して該当箇所の精読と自分なりの分析を発表してもらいます。 | | 2 | 秋・木 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学研究Ⅰ-1(英語教育) | 本科目では、総合的な英語コミュニケーション能力を育成する教授・学習法を学んだ上で、英語科の学習活動や教材を調査し、分析する手法を学ぶ。 | 吉田 広毅 | 2 | 春・月 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学研究Ⅰ-2(英語教育) | | | 2 | 秋・月 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学研究Ⅲ-1(音声学) | 音声の音響分析のための技術及び知識の習得 | 平坂 文男 | 2 | 春・月 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学研究Ⅲ-2(音声学) | | | 2 | 秋・月 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学研究Ⅳ-1(意味論・統語論) | 統語構造を言語研究の中核に据えて言語の本質を解明しようとする生成言語学に対して、近年、知覚を中心とした人間の認知能力と言語の関係を解明しようとする認知言語学の発展がめざましい。この授業は認知言語学の基本的な用語や概念とその研究方法の理解を通して言語の、形式と意味との関係を考える。 | 大橋 一人 | 2 | 春・火 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学研究Ⅳ-2(意味論・統語論) | | | 2 | 秋・火 | 3 | 研究室 | 若干名 |

令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士前期課程 (英語英米文学専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単 位 | 曜 日 | 時 限 | 教室 | 受入可能 学生数 |
|---------------------|--|------------|--------|--------|--------|-----|-------------|
| 英文学演習Ⅲ-1(イギリス詩) | イギリス・ロマン派の詩人William Blake の代表作を原文で講読する。 | 安藤 潔 | 2 | 春・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 英文学演習Ⅲ-2(イギリス詩) | | | 2 | 秋・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 米文学演習Ⅰ-1(アメリカ詩) | In this course we explore the poetry of Emily Dickinson. This 19th century reclusive American poet found new forms of poetic expression through the influence of The Bible, Shakespeare and developing modern sciences to become, after her death, one of America's most enduring poets. | アラン ホヰフォード | 2 | 春・金 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 米文学演習Ⅰ-2(アメリカ詩) | | | 2 | 秋・金 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学演習Ⅱ-1(語用論・認知言語学) | 英文テキストを参照にしながら、英語と日本語を比較する中で生じる幾つかの言語学的問題を提示し、その背後に隠された謎をどのように解決できるかを様々な観点から検討していく。 | 草山 学 | 2 | 春・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学演習Ⅱ-2(語用論・認知言語学) | | | 2 | 秋・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |

特記事項

科目名が同名の1、2については、原則として春学期及び秋学期で連続して履修するものとする。

令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士後期課程 (英語英米文学専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単位 | 曜日 | 時限 | 教室 | 受入可能 学生数 |
|------------------------|--|------------|----|-----|----|-----|-------------|
| 英米文学特殊研究Ⅱ-1(イギリス詩) | ワーズワスの大作 The Prelude 『序曲』を講読する。 | 安藤 潔 | 2 | 春・木 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 英米文学特殊研究Ⅱ-2(イギリス詩) | | | 2 | 秋・木 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学特殊研究Ⅱ-1(音声学) | 音声の音響分析のための技術及び知識の習得 | 平坂 文男 | 2 | 春・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学特殊研究Ⅱ-2(音声学) | | | 2 | 秋・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 英米文学特殊講義Ⅰ-1(英国小説) | 受講生の発表をもとに議論をしていくことにより、思考を深め、多様な読みや積極的な読みを实践できるようにする。文学作品やその背景をなす文化への理解を深化させる。 | 松村 聡子 | 2 | 春・金 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 英米文学特殊講義Ⅰ-2(英国小説) | | | 2 | 秋・金 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 英米文学特殊講義Ⅲ-1(19世紀アメリカ詩) | In this course, we will do close readings of poems from Walt Whitman's Leaves of Grass, one of the central texts of modern American poetry. Readings will include both original works and secondary sources, such as biographical and critical responses to America's most influential poet. | アラン ホツフォード | 2 | 春・金 | 1 | 研究室 | 若干名 |
| 英米文学特殊講義Ⅲ-2(19世紀アメリカ詩) | | | 2 | 秋・金 | 1 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学特殊講義Ⅰ-1(意味論・統語論) | 統語構造を言語研究の中核に据えて言語の本質を解明しようとする生成言語学に対して、近年、知覚を中心とした人間の認知能力と言語の関係を解明しようとする認知言語学の発展がめざましい。この授業は認知言語学の基本的な用語や概念とその研究方法の理解を通して英語という言葉の形式と意味との関係を考える。 | 大橋 一人 | 2 | 春・土 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学特殊講義Ⅰ-2(意味論・統語論) | | | 2 | 秋・土 | 2 | 研究室 | 若干名 |

令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士後期課程 (英語英米文学専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単位 | 曜日 | 時限 | 教室 | 受入可能学生数 |
|-----------------------|--|-------|----|-----|----|-----|---------|
| 英語学特殊講義Ⅱ-1(英語学・英語教育) | <ul style="list-style-type: none"> •Students will be able to explain major issues and trends in current SLA research and theory. •Students will analyze and discuss problems and challenges in current SLA research and theory. | 吉田 広毅 | 2 | 春・土 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学特殊講義Ⅱ-2(英語学・英語教育) | <ul style="list-style-type: none"> •Students will formulate research questions about aspects of research theories and practice in the field of SLA. •Students will be able to write coherent research papers on topics relating SLA. | | 2 | 秋・土 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学特殊講義Ⅲ-1(語用論・認知言語学) | 語用論・認知言語学に関する英文テキストを正確に読み、関連する問題について論理的に考え、内容をわかりやすく説明できる能力を養う。 | 草山 学 | 2 | 春・水 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 英語学特殊講義Ⅲ-2(語用論・認知言語学) | | | 2 | 秋・水 | 6 | 研究室 | 若干名 |

特記事項

科目名が同名の1、2については、原則として春学期及び秋学期で連続して履修するものとする。

令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士前期課程 (社会学専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単 位 | 曜 日 | 時 限 | 教室 | 受入可 能学生 数 |
|-------------------|---|--------|--------|--------|--------|-----|-----------------|
| 社会学研究Ⅰ-1(社会学史) | クリスチャン・ヨブケ(Christian Joppke)の『軽いシティズンシップ』を購読し、排除型社会に向かう趨勢にある現状を考える。 | 大澤 善信 | 2 | 春・月 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学研究Ⅰ-2(社会学史) | デランティの著書を講読しつつ、グローバル時代のありうべきシティズンシップ概念を構想する。 | 大澤 善信 | 2 | 秋・月 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学研究Ⅲ-1(地域社会計画) | 環境・リスク・公共性の比較社会学 ・出席者によるレポートと討議方式の授業である ・環境・リスク・公共性を検討する ・比較都市社会学についての再認識を深める | 橋本 和孝 | 2 | 春・金 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学研究Ⅲ-2(地域社会計画) | 環境・リスク・公共性の比較社会学 ・出席者によるレポートと討議方式の授業である ・環境・リスク・公共性を検討する ・比較都市社会学についての再認識を深める | 橋本 和孝 | 2 | 秋・金 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学研究Ⅴ-1(環境社会学) | 環境問題は現代社会における主要課題の1つであり、社会・経済のあり方と深く関わっている。研究方法や分析視点に関する基礎的な講義を行ったのち、文献の購読を通して具体的事例に触れ、環境社会学に対する理解を深める。 | 湯浅 陽一 | 2 | 春・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学研究Ⅴ-2(環境社会学) | 環境問題は現代社会における主要課題の1つであり、社会・経済のあり方と深く関わっている。研究方法や分析視点に関する基礎的な講義を行ったのち、文献の購読を通して具体的事例に触れ、環境社会学に対する理解を深める。 | 湯浅 陽一 | 2 | 秋・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学研究Ⅰ-1(高齢者福祉) | 地域包括ケア/統合ケアや多職種チーム論等に関する日本および欧米の文献を読み、研究の視点、方法の異同について学ぶ。 | 副田 あけみ | 2 | 春・火 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学研究Ⅰ-2(高齢者福祉) | 地域包括ケア/統合ケアや多職種論等に関する日本および欧米の文献を読み、研究の視点、方法の異同について学ぶ。 | 副田 あけみ | 2 | 秋・火 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学研究Ⅱ-1(障害学) | この講義では、近代社会における「能力主義」に焦点を当てる。人間の「有能さ/無能さ」を測る尺度はどのように開発されてきたのか、そしてそこで生み出される差別は、どのように科学的に正当なものとして主張されてきたのかについて分析する。 | 麦倉 泰子 | 2 | 春・木 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学研究Ⅱ-2(障害学) | この科目では、障害者を含むマイノリティに対する社会的抑圧の理論について学ぶ。障害学における社会的抑圧の理論化の基盤となったものとして、アイリス・マリオン・ヤングの議論があげられる。この科目ではヤングの著作の講読を通して、1960年代以降のアメリカで現れた女性やゲイ・レズビアン、黒人やアラブ系、アジア系移民、高齢者、労働者階級、そして障害者の運動のなかで、何が抑圧として非難され、どのような正義が求められてきたのかを考察する。 | 麦倉 泰子 | 2 | 秋・木 | 6 | 研究室 | 若干名 |

令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士前期課程 (社会学専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単 位 | 曜 日 | 時 限 | 教室 | 受入可 能学生 数 |
|------------------|--|-------|--------|--------|--------|-----|-----------------|
| 社会福祉学研究Ⅲ-1(地域福祉) | 社会福祉協議会理論の形成と発展過程を通して、日本における地域福祉の歴史的展開過程を理解する。 | 山口 稔 | 2 | 春・木 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学研究Ⅲ-2(地域福祉) | | | 2 | 秋・木 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学演習Ⅳ-1(社会心理) | 理論的思考の基礎を習得する。 | 新井 克弥 | 2 | 春・金 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学演習Ⅳ-2(社会心理) | 修士論文の作成 | 新井 克弥 | 2 | 秋・金 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学演習Ⅴ-1(都市文化) | 社会学の三潮流のひとつであるシンボリックインタラクショニズムについての理解を深めるとともに、それに基づいた都市文化の研究の即席を辿る | 吉瀬 雄一 | 2 | 春・火 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学演習Ⅴ-2(都市文化) | ゴフマンの博士論文を読み込み、シエラランド島での彼のフィールドワークとその果実を内側から感じ取る。 | 吉瀬 雄一 | 2 | 秋・火 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学特講Ⅰ(外書講読) | バーチャルコミュニティ再考 バーチャルコミュニティの現状と問題点、その意義を、シンボリックインタラクショニズムの立場から再検討する。 | 上野 淳子 | 2 | 春・火 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学特講Ⅱ(原典講読) | ゴフマンのフィールドワークを理解する。 | 小山 弘美 | 2 | 秋・金 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学特講Ⅰ(障害者福祉) | この講義では障害者の自立とケア労働の関係に焦点を当てる。「ケア」はこれまでの伝統的な社会においては主に親族によって供給されるものであったが、近年では高齢化の進展、さらに社会全体における個人化の進行によって専門職によって担われる「ケア労働」として外部化されるようになってきた。 この講義では、日本とイギリスの事例を中心として、障害者の自立生活運動とケア労働との関係性について考察を進めていきたい。 | 麦倉 泰子 | 2 | 春・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学特講Ⅲ(児童家庭福祉) | テーマは、「子どもの福祉と社会――家庭・学校・地域の重層的な社会システムの中で子どもの育ち・育てのための適切なリソースを探すために」である。 子ども家庭福祉分野におけるソーシャルワーカーの役割は、子ども(とくに学齢期児童を想定する)が社会の中で多様なリソースを用いてナビゲートしていけるようにすることであり、そのために「調査研究にインフォームドされた実践」の普及にかかる強い意欲を持つことが大事である。具体的には、調査研究論文の渉獵・精読・批判的分析を通して、そこで得られる知識が、子ども家庭福祉を研究テーマとする受講生の研究・教育活動の基盤となるように方向づけていく。 | 澁谷 昌史 | 2 | 春・火 | 1 | 研究室 | 若干名 |
| 図書館情報学特講 | 本講義では、国民の最も基本的な人権である知る権利が、我が国においてどのように保障され、またどのように侵害されているかを、いくつかの事例(とりわけ、「自由宣言」および国家秘密保護)に基づいて考察する。 現代日本における知る権利の保障と侵害 | 中村 克明 | 2 | 春・木 | 5 | 研究室 | 若干名 |

令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士前期課程 (社会学専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単位 | 曜日 | 時限 | 教室 | 受人可能学生数 |
|------------|---|--------|----|-----|----|-----|---------|
| 公共図書館論 | 激しく変革する公共図書館の実情をふまえ、これを総合的に分析すると共に、今後、公共図書館はどうあるべきか、について考察する。 変革の時代の公共図書館 | 中村 克明 | 2 | 秋・木 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 学校図書館論 | 海外の学校図書館に関するガイドラインについてテキストの輪読を通じて理解をする。ガイドラインはそれぞれの国や地域における学校図書館の望ましいあるべき姿を述べたものであり、学校図書館の役割やミッションが明確に示されている。これらのガイドラインは各国の学校制度や学校図書館のコンテキストによって状況が異なることを理解してほしい。それを踏まえた上で、日本の学校制度における学校図書館の意義や役割や活動内容についてのディスカッションを行い考察を深める。 | 千 錫烈 | 2 | 秋・木 | 1 | 研究室 | 若干名 |
| 教育学特講 | <教育学の最新の知見と実践場面の課題から「教育」の本質を探る> 社会が大きく変化し、教育や人間形成の過程が従来の枠組みでは捉えきれなくなっている。そこで教育学の最新の知見や実践場面の課題に学ぶことで、現代の人間や教育の本質に迫っていく。 | 久保田 英助 | 2 | 春・火 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 教育実践学特講 | <教育学の最新の知見と実践場面の課題から、教育の実践的力を身につける> 社会が大きく変化し、教育や人間形成の過程が従来の枠組みでは捉えきれなくなっている。同時に教育の現場は多くの困難に直面している。そこで教育学の最新の知見や実践場面の分析から、現代の人間や教育の本質を探るとともに、教育における実践的な力を身につける。 | 久保田 英助 | 2 | 秋・火 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 図書館情報メディア論 | 図書館情報学に関する基本的な事柄について理解する科目である。 図書館情報学の対象は図書館だけにとどまらず、情報メディア、メディア社会、情報利用行動など対象は幅広い。こうしたメディアについての理解と図書館との関係についてテキストを輪読しながら理解と検討を行っていく。 | 千 錫烈 | 2 | 春・月 | 3 | 研究室 | 若干名 |

特記事項

科目名が同名の1、2については、原則として春学期及び秋学期で連続して履修するものとする。

**令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士後期課程 (社会学専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単 位 | 曜 日 | 時 限 | 教室 | 受入可能 学生数 |
|---------------------|--|--------|--------|--------|--------|-----|-------------|
| 社会学特殊研究Ⅰ-1(社会学史) | サスキア・サッセンの政治経済学的グローバル空間論を講読検討する。グローバル化の動態を具体的に考察する契機となる。 | 大澤 善信 | 2 | 春・木 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学特殊研究Ⅰ-2(社会学史) | サスキア・サッセン『領土・権威・諸権利』を講読し、グローバルゼーション・スタディーズの現在を知る。 | 大澤 善信 | 2 | 秋・木 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学特殊研究Ⅱ-1(地域社会計画) | 社会理論・応用社会学と社会的現実 1. 博士予備論文、博士論文執筆のための訓練を行う。 2. 地域社会計画の方法を習得させることによって社会的現実を分析し、政策化する訓練に努める。 | 橋本 和孝 | 2 | 春・金 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学特殊研究Ⅱ-2(地域社会計画) | 社会理論・応用社会学と社会的現実 博士予備論文、博士論文執筆のための訓練を徹底的に行う。 | 橋本 和孝 | 2 | 秋・金 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学特殊研究Ⅲ-1(社会心理) | メディア論の基礎文献を取り上げ、これについて読み込んでいきます。ただし、修士論文作成に当たっての基本的なスキルの学習を合わせて行います。 | 新井 克弥 | 2 | 春・木 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学特殊研究Ⅲ-2(社会心理) | メディア論の専門文献を取り上げ、これについて読み込んでいきます。ただし、修士論文作成に当たっての基本的なスキルの学習を合わせて行います。具体的には「論文叩き」と称して、毎回論文一本を精読し、これについて議論していきます。 | 新井 克弥 | 2 | 秋・木 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学特殊研究Ⅳ-1(環境社会学) | 国内外の環境社会学研究について、とくに理論形成の土台となっている基礎理論の理解を目的とした文献の講読を行う。主たる対象として、組織の戦略分析と環境制御システム論を取り上げる。 | 湯浅 陽一 | 2 | 春・土 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学特殊研究Ⅳ-2(環境社会学) | 国内外の環境社会学研究をもとに、理論形成の方法に関する文献の講読を行う。具体的な方法として、Grounded Theory、T字型の理論形成、中範囲の理論などを取り上げる。 | 湯浅 陽一 | 2 | 秋・土 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学特殊研究Ⅰ-1(高齢者福祉) | 高齢者福祉・ソーシャルワークに関する博士論文を執筆するのに必要な文献を読むとともに、研究方法等について討議し、博士論文執筆につなげていく。 | 副田 あけみ | 2 | 春・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学特殊研究Ⅰ-2(高齢者福祉) | 高齢者福祉・ソーシャルワークに関する博士論文および予備論文執筆に向けて必要な文献を読む。執筆予定者に研究の進捗状況について発表してもらい、討議する。 | 副田 あけみ | 2 | 秋・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学特殊研究Ⅲ-1(地域福祉) | 地域福祉の歴史的展開過程を理解する。 | 山口 稔 | 2 | 春・土 | 1 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学特殊研究Ⅲ-2(地域福祉) | | | 2 | 秋・土 | 1 | 研究室 | 若干名 |

**令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士後期課程 (社会学専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単 位 | 曜 日 | 時 限 | 教室 | 受入可能 学生数 |
|---------------------|--|--------|--------|--------|--------|-----|-------------|
| 社会学特殊講義 I-1(都市文化) | シンボリックインタラクショニズムに基づく都市文化の研究 | 吉瀬 雄一 | 2 | 春・月 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 社会学特殊講義 I-2(都市文化) | | | 2 | 秋・月 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 図書館情報学特殊講義 1 | 日本図書館協会(日本における図書館人の最大の団体)の最も重要な公式文書である「図書館の自由に関する宣言」(「自由宣言」)の作成過程およびその意義・内容について、批判的に検討することを目標とする。 | 中村 克明 | 2 | 春・火 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 図書館情報学特殊講義 2 | 「自由宣言」(「図書館の自由に関する宣言1979年改訂」)に関する日本図書館協会図書館の自由委員会の公式解説を読み、「図書館の自由」概念とその問題点について考察する。 | 中村 克明 | 2 | 秋・火 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 図書館情報メディア特殊講義 1 | アメリカ・カナダのライブラリアン養成大学院でテキストとして採用されている「図書館情報学概論」(日本語訳)を輪読し、図書館情報学に関する基本的な知識の習得をめざす。輪読後は各トピックスごとに理解を深めることを目的としてディスカッションを行う。ディスカッションを行う際には、テキストで言及される文献(英文)を指定するので、それを読んだ上で臨むこと。 | 千 錫烈 | 2 | 春・月 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 図書館情報メディア特殊講義 2 | 図書館における問題利用者に関する図書(英文)を輪読して、問題利用者に関する対処法や予防策に関する知識を深め、図書館における危機管理について理解することを目的とする。 | 千 錫烈 | 2 | 秋・土 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学特殊講義 I(高齢者福祉) | 博士論文執筆のための研究方法を学ぶとともに研究倫理の遵守について理解する | 副田 あけみ | 2 | 秋・水 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学特殊講義 III(地域福祉) | 地域福祉とコミュニティワークの理論の理解 コミュニティワークの技法についての理解と修得 | 山口 稔 | 2 | 春・土 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学特殊研究 II-1(障害学) | 本科目ではイギリスの障害学がどのような議論を経て立ち上がってきたのか、そしてフェミニズムやポストモダニズムとの理論的な対話を経て、どのような展開を遂げてきたのかについて理解する。 | 麦倉 泰子 | 2 | 春・月 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 社会福祉学特殊研究 II-2(障害学) | エスノグラフィー、フィールドワーク、ライフヒストリー/ライフストーリー法、会話分析、内容分析といった多様な質的調査の方法についての基本的知識を得るとともに、それぞれの方法が提唱されてきた社会調査の歴史的な背景について理解を深める。 | 麦倉 泰子 | 2 | 秋・月 | 6 | 研究室 | 若干名 |

特記事項

科目名が同名の1、2については、原則として春学期及び秋学期で連続して履修するものとする。

令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士前期課程 (比較日本文化専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単位 | 曜日 | 時限 | 教室 | 受入可能学生数 |
|------------------|--|--------|----|-----|----|-----|---------|
| 日本文化研究Ⅰ-1(文学) | 三島由紀夫のライフワーク『豊饒の海』を通して日本の近現代文学と西洋文学との関係、仏教思想(唯識論)と東洋思想および日本思想の関わりを考える。 | 富岡 幸一郎 | 2 | 春・木 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 日本文化研究Ⅰ-2(文学) | 文学作品は言葉の芸術としての結晶のみならず、その国の歴史・文化・思想がさまざまな形で反映されている。その時代を代表する作品を通して、そうした多様な芸術的問題に比較文学的なアプローチを含めて迫ってみたい。 | | 2 | 秋・木 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 日本周辺文化研究Ⅰ-1(中国) | <魯迅、竹内好及び近代の中国と日本> 近代中国の代表的作家魯迅と、魯迅文学と思想的格闘をした日本の文学者・思想家竹内好を中心に、近現代の日中ないしアジアの問題と課題を考える。 | 鄧 捷 | 2 | 春・月 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 日本周辺文化研究Ⅰ-2(中国) | | | 2 | 秋・月 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 日本周辺文化研究Ⅱ-1(朝鮮) | 朝鮮植民地統治と分断国家 2010年は『日韓併合100年』であったし、2015年は日韓国交樹立50周年を迎えた。日韓・日朝の間には依然として「歴史認識」問題が未解決のままである。また2000年の南北首脳会談以来、南北関係は敵対関係から対話と協力関係に進んでいるとはいえ、半世紀以上にわたって分断状況が続いている。講義では、『日韓併合100年』と『国交樹立50年』を日本の植民地政策と解放後の分断過程と日韓・日朝関係から考える。 | 大内 憲昭 | 2 | 春・水 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 日本周辺文化研究Ⅱ-2(朝鮮) | 南北朝鮮の憲法を読む 朝鮮半島は日本の敗北により植民地支配から「解放」されたが、米ソの冷戦構造の中で「分断」され、南に資本主義制度、北に社会主義制度の国家が樹立された。講義では、現行憲法を素材にして、両国家の異質性と「分断と統一」の問題を検討する。 | | 2 | 秋・水 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化演習Ⅲ-1(欧米史) | 現代日本に生きる我々にとって大きな示唆を与えてくれる欧米の事蹟を歴史的に考察する。 | 君塚 直隆 | 2 | 春・金 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化演習Ⅲ-2(欧米史) | | | 2 | 秋・金 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 日本文化演習Ⅲ-1(近世文学) | 現代日本に生きる我々にとって大きな示唆を与えてくれる欧米の事蹟を歴史的に考察する。 | 井上 和人 | 2 | 春・月 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 日本文化演習Ⅲ-2(近世文学) | | | 2 | 秋・月 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 日本文化演習Ⅳ-1(日本語学) | 日本語の多義表現を中心に、その解釈に差をもたらす要因を意味的・構造的な観点から考察する。多義表現は、言語学・日本語学の中心的な課題の一つだが、同時に、応用言語学である日本語教育での課題でもある。従って、この授業には言語学・日本語学に興味を持つ学生と日本語教育に興味を持つ学生の参加を期待する。 | 伊藤 健人 | 2 | 春・金 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 日本文化演習Ⅳ-2(日本語学) | | | 2 | 秋・金 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 比較ドイツ文化特講Ⅰ | ドイツ語圏の文化を対象とする科目です。演習形式で歴史的資料(ドイツ語)を輪読しながら、これまでの概説的な理解を自分で史実を批判的に検証して深める訓練を行います。同時代の近隣諸国の現状を常に念頭に置き、自分のその都度の学習・研究対象をそれを包括する全体的な座標軸上に定位する習慣を培います。 | 佐藤 茂樹 | 2 | 春・水 | 5 | 研究室 | 若干名 |

**令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士前期課程 (比較日本文化専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単位 | 曜日 | 時限 | 教室 | 受入可能 学生数 |
|------------|---|-------|----|-----|----|-----|-------------|
| 比較ドイツ文化特講Ⅱ | ドイツ語圏の文化の展開のうち、主に20世紀の事象からいくつかのトピックスを取り上げ、批評や論争を通して時代と社会が直面する問題を考察する科目です。 | 佐藤 茂樹 | 2 | 秋・水 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 比較宗教学特講Ⅰ | 本講義では、宗教を、みずからの信仰の課題としてではなく、学問の対象として研究するということはどういうことかについて考える。世界においても日本においても、現代社会において、宗教は政治、社会、文化の様々な領域、倫理的諸問題のなかに溶け込む形で存在している。現代における比較宗教研究の基礎的文献をテキストとして用い、「宗教」を分析する視点を身につけたい。 | 高井 啓介 | 2 | 春・金 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 比較宗教学特講Ⅱ | 本講義は、キリスト教伝来以来現在に至るまでの日本キリスト教史を、それぞれの時代の世界のキリスト教および日本国内の他宗教との影響関係に的を絞りつつ考察する。 日本キリスト教史研究の第一人者である鈴木範久著の最新の著作である『日本キリスト教史 年表で読む』を教科書として用いる。このテキストを読み解きながら、宣教師によってもたらされたキリスト教が、日本の文化、他宗教とのぶつかり合いのなかで、どのように受容され、日本的な形として成立していったかを考える。 授業のなかでは、我が国がこれまで行ってきた諸宗教の受容・排斥とキリスト教の受容・排斥はどこに共通点があり相違点があるのかにとくに注目する。また宗教の受容に伴う、異文化の受容と排斥という問題をも強く意識している。 | | 2 | 秋・金 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 日本中世文化特講Ⅰ | 鶴岡八幡宮の僧侶による衆会(会議)の記録である『鶴岡事書日記』永徳2年から応永2年閏7月条までを講読するなかで、史料から歴史を読み解くスキルをアップさせるとともに、中世(とくに室町期)の鎌倉とその周辺の社会の様子を読み解く。 | 西尾 知己 | 2 | 春・火 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 日本中世文化特講Ⅱ | | | 2 | 秋・火 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 国語学特講Ⅰ | 本講座では、時枝誠記博士(故人)がみずからの「言語論・文法論」を展開された『国語学原論』(原著1941年刊 岩波文庫上・下・続 3冊 2007・2008年刊)を読む。 | 伊東 光浩 | 2 | 春・火 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 国語学特講Ⅱ | 本講座では、早津恵美子氏(東京外語大学大学院教授)がみずからの「使役論」を展開した『現代日本語の使役文』(2016年刊 ひつじ書房 ひつじ研究叢書〈言語編〉第140巻)を読む。 | | 2 | 秋・火 | 3 | 研究室 | 若干名 |

特記事項

科目名が同名の1、2については、原則として春学期及び秋学期で連続して履修するものとする。

令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学: 関東学院大学

研究科(専攻): 文学研究科 博士後期課程 (比較日本文化専攻)

(履修申請受付期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和2年4月6日)

| 科目名 | 科目の内容 | 担当教員 | 単 位 | 曜 日 | 時 限 | 教室 | 受入可能 学生数 |
|-----------------------|---|--------|--------|--------|--------|-----|-------------|
| 比較日本文化特殊研究Ⅰ-1(比較文化) | 日本の近代思想と宗教を考える。 内村鑑三のキリスト教受容を通して、西洋キリスト教と日本の宗教のあり方を考察する。 | 富岡 幸一郎 | 2 | 春・木 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化特殊研究Ⅰ-2(比較文化) | 日本のキリスト教思想と宗教多元主義の可能性 内村鑑三のキリスト教と西洋の近代神学を批判したスイスの神学者カール・バルトの神学とを比較しながら、その現代的意味を探る。 | | 2 | 秋・木 | 6 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化特殊研究Ⅲ-1(文学) | 手で読む「日本近世文学」 耳慣れないテーマ名でしょうか。作品(和本)を手にとってみる。版本の文章を翻刻する。注釈をつけながら読む。たいそう「どんくさい」方法で「日本近世文学」に立ち向かおうという授業です。 | 井上 和人 | 2 | 春・火 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化特殊研究Ⅲ-2(文学) | 教科書は指定しません。プリントを使い、さまざまな文献に接したいと思います。 | | 2 | 秋・火 | 2 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化特殊研究Ⅳ-1(東アジア) | 「東アジア諸国の国家と法の比較研究」 社会主義はソ連邦の崩壊、東欧諸国の体制転換と共に、1990年代初頭にその世界史的意義の「終焉」を迎えたと言えるのか、アジアでは中国・朝鮮・ベトナムがそれぞれの現状に応じた方法を模索しながら、依然として「社会主義体制」を堅持している。アジア社会主義の特徴を「国家と法」の視点から考察する。 | 大内 憲昭 | 2 | 春・水 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化特殊研究Ⅳ-2(東アジア) | 「東アジア諸国の国家と法の比較研究」 本講義では南北朝鮮の「国家と法」について考察する。南北朝鮮は体制の異なる分断国家である。体制の相違を「憲法制度」を通して考察すると同時に、同一民族ゆえの法における同質性についても考察する。 | | 2 | 秋・水 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化特殊研究Ⅵ-1(欧米文化) | 日本研究との比較という視点から、欧米文化について受講生とともに探究していく。 | 君塚 直隆 | 2 | 春・月 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化特殊研究Ⅵ-2(欧米文化) | | | 2 | 秋・月 | 4 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化特殊講義Ⅳ-1(日中比較文学) | 周作人(兄魯迅と並ぶ現代中国の大知識人、知日家)の日本文化談義を読むとともに、受講者の研究テーマとも関連づけて、比較討論していくことを内容としている。 | 鄧 捷 | 2 | 秋・金 | 5 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化特殊講義Ⅳ-2(日中比較文学) | | | 2 | 春・金 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化特殊講義Ⅴ-1(日本語学) | 日本語の多義表現について考える。特に、多義的な意味の拡がりやどのような要因によってもたらされるのかを、認知意味論の枠組みを用いて、意味的・構造的な観点から考察する。 | 伊藤 健人 | 2 | 秋・金 | 3 | 研究室 | 若干名 |
| 比較日本文化特殊講義Ⅴ-2(日本語学) | | | 2 | 秋・火 | 6 | 研究室 | 若干名 |

特記事項

科目名が同名の1、2については、原則として春学期及び秋学期で連続して履修するものとする。